

地域のまちづくりに貢献する企業をご紹介します。



2020 さっぽろまちづくり スマイル企業 活動レポート

各区の地域コミュニティに関する取組については
各区地域振興課またはまちづくりセンターへお問い合わせください。

各区役所 地域振興課

- 中央区 TEL/205-3221
- 豊平区 TEL/822-2427
- 北区 TEL/757-2407
- 清田区 TEL/889-2024
- 東区 TEL/741-2429
- 南区 TEL/582-4723
- 白石区 TEL/861-2422
- 西区 TEL/641-6926
- 厚別区 TEL/895-2442
- 手稲区 TEL/681-2445

まちづくりセンター検索

<http://www3.city.sapporo.jp/shimin/shinko/>

※「マチトモNavi」から地域等を検索すると該当地域の「まちづくりセンター」が表示されます。

お問い合わせ先

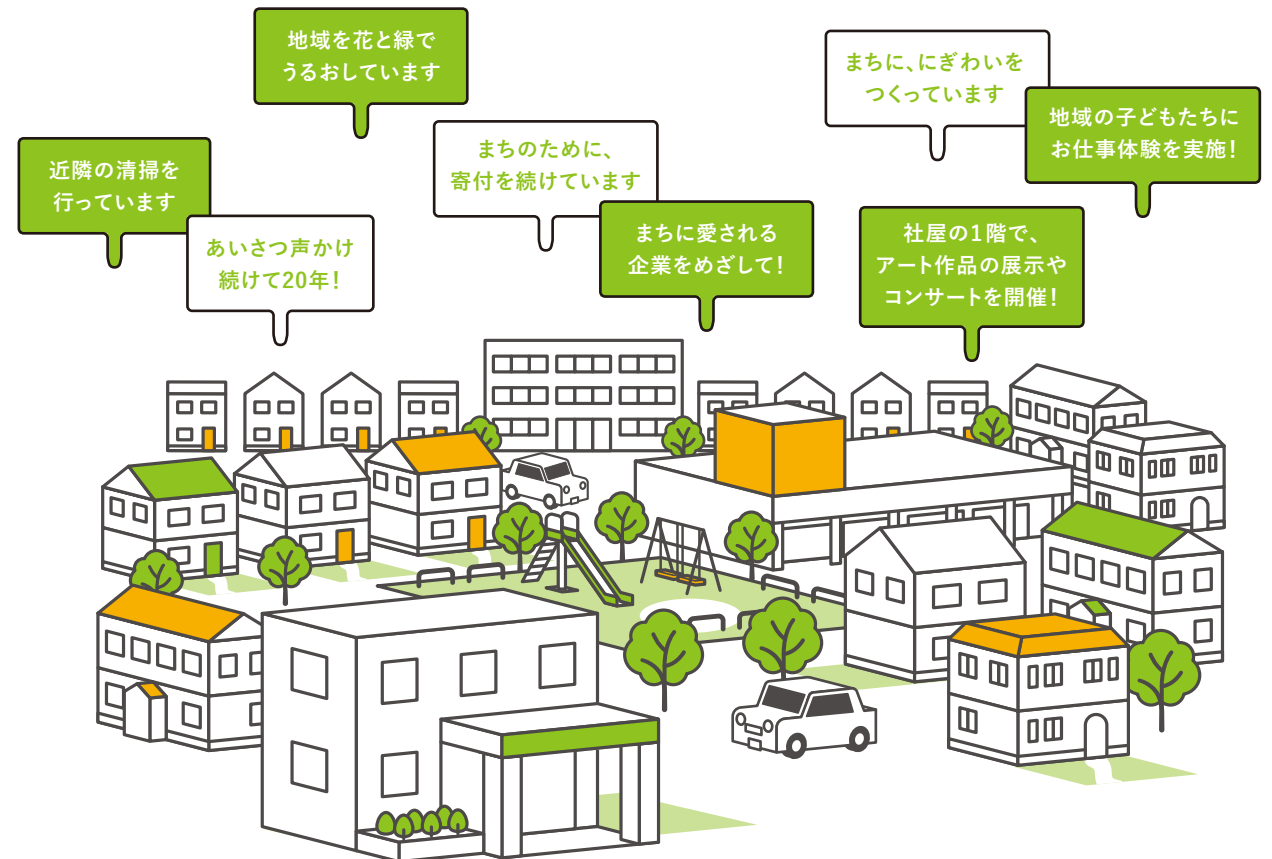
札幌市市民文化局市民自治推進室 市民活動促進担当課 CSR 担当係
 【TEL】 211-2964
 【E-mail】 csr_info@city.sapporo.jp
 【HP】 <https://www.city.sapporo.jp/shimin/support/csr/smile/>



さっぽろスマイル企業



発行 / 2021年3月



札幌市市民文化局
市民自治推進室 市民活動促進担当課

目次 contents

- はじめに 1
- さっぽろまちづくり
スマイル企業とは？ 1
- こんな企業が対象になります 2
- こんな活動が対象になります 2
- 事例紹介
- 01 株式会社きのとや 3
- 02 秋津道路株式会社 5
- 03 株式会社四宮造園 7
- 04 安田興業株式会社 9
- 05 株式会社札幌ドーム 11
- 06 札幌日信電子株式会社 13
- 07 株式会社セブン-イレブン・
ジャパン 北海道ゾーン
札幌地区事務所 15
- 08 丸彦渡辺建設株式会社 17
- よくある質問 19
- 登録～認定・表彰までの流れ 20
- 認定企業一覧 21

はじめに

近年、少子高齢化や核家族化など社会情勢が大きく変化しており、札幌市の人口も今後、減少に転じることが見込まれています。こうした時代を迎えるにあたり、誰もが安心して暮らしていける街を実現するためには、企業の方々の地域社会への積極的な働きかけがとて重要となります。

札幌市では、こうした取組を支援するため、企業の地域に根差したまちづくり活動に積極的に取り組む企業を「さっぽろまちづくりスマイル企業」(以下、「スマイル企業」)として認定する「さっぽろまちづくりスマイル企業認定制度」を令和元年7月からスタートいたしました。

スマイル企業の活動を広く知っていただくことで、スマイル企業と地域のみなさんとのつながりが深まるとともに、より多くの企業の方々が地域の一員として札幌市のまちづくりへ参加いただくきっかけとなれば幸いです。



さっぽろまちづくり スマイル企業とは？

札幌市のまちづくり活動に 積極的に取り組む企業を認定します!!

札幌市では、一年度間に一定基準の地域のまちづくり活動に積極的にご協力いただいている企業を「さっぽろまちづくりスマイル企業」として認定しています(認定基準等の制度の概要はP.2、P.19、P.20参照)。

本制度により、スマイル企業として認定されますと、認定企業のまちづくり活動を札幌市公式ホームページで周知するほか、認定証や企業のPRに利用可能な認定マークの付与、活動実績に応じた各種表彰を行っています。

まずは、地域と顔の見える関係づくりから始めませんか？



認定マーク

こんな企業が対象になります

以下の条件を満たす企業又は事業所が対象です。

- 1 | 営利を目的とした企業又は当該企業を構成員とする営利を目的とした任意団体、協同組合。
- 2 | 札幌市内に所在する企業又は事業所(本社が札幌市になくても可)。
※本社(支社)もしくは事業所単位のどちらかでお申込みください。(両方の申込みはできません)
- 3 | 札幌市内で継続して1年以上の事業の実績があること。
- 4 | 市税、法人税並びに消費税及び地方消費税を滞納していないこと。

次に該当する企業又は事業者は、登録の対象となりません

- 法令などに抵触する恐れのあるもの。
- 公序良俗に反する恐れのあるもの。
- 政治性、宗教性があるもの。
- 民事再生法及び会社更生法による再生または更正の手続き中のもの。
- 事業に関して法令に違反し、国又は地方公共団体から行政処分を受け、当該処分が解除されていない企業。
- 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条2号に規定する暴力団又は札幌市暴力団の排除の推進に関する条例(平成25年条例第6号)第7条第1項に規定する暴力団関係事業者。
- 本市が登録しないことが適切と認めるもの。

こんな活動が対象になります

営利を主な目的としない企業の公益的な活動のうち、地域のまちづくりに関する活動が対象です。

- 1 | 札幌市が実施する制度や取組、イベントへの連携・協力・寄付・協賛。
- 2 | 町内会や地域の実行委員会、札幌市が中心となっている組織委員会等が実施する取組やイベントへの連携・協力・寄付・協賛。
- 3 | 上記1、2以外の企業が独自に取り組む活動については、営利と関係せず地域に直接貢献したと社会的に認められる活動。
(札幌市内で行なわれ、札幌市民の参加・利用実績がある活動が対象です)



項目	活動例
①地域コミュニティ	地域コミュニティや地域のまちづくり活動への積極参加やイベント等への寄付・協賛、地域活動を行う場の提供、福祉除雪等の除雪ボランティア等
②防犯・防災・安全	防犯活動、消費者トラブルの未然防止に関する活動、交通安全運動、冬の砂まき・消火栓除雪、消防や防災に関する活動、これらの分野にかかるイベント等への協力・寄付・協賛等
③環境	ゴミ拾い、植花・維持管理、エコ活動、環境に関するイベント等への協力・寄付・協賛等
④子ども・子育て	子育て支援に関する活動、職場体験受入、学校へ講師派遣、虐待防止に関する活動、子ども・子育てに関するイベント等への協力・寄付・協賛等
⑤健康・福祉	高齢者や障がい者に関する見守りや社会福祉に関する活動、健康増進・食育に関する取組、これらの分野にかかるイベントやセミナーへの協力・寄付・協賛等
⑥産業・文化・活力	スポーツ・文化の振興、シティプロモート、産業振興に関する活動、ワークライフバランスや男女共同参画等に関する活動、これらの分野にかかるイベント等への協力・寄付・協賛等
⑦広報協力	パンフレット配架やポスター掲示等の広報協力
⑧その他	①～⑦以外に地域に貢献したと社会的に認められる社会貢献活動

具体的な活動例についてはさっぽろまちづくりスマイル企業認定制度のホームページをご覧ください。

[さっぽろスマイル企業](#) [検索](#)

★札幌市が実施する制度や取組のうち、助成金の交付や企業の採用に関する取組など、企業の本来的な活動を支援するための制度・取組への連携・協力は、本制度で認定する活動の対象外です。

日頃の感謝を込めて ゆかりの地に恩返し



南郷通に面した創業の地・白石区東札幌をはじめ、市内近郊に11店舗を構えるきのとやは、札幌を代表する洋菓子店です。札幌市民に愛される同社は、おいしいお菓子を通して、売上の一部を寄付するなど、教育支援や白石区内のまちづくり活動をサポートしています。

KINOTOYA

株式会社きのとや

本社
〒007-0805
札幌市東区東苗穂5条3丁目7-36

- 業種／菓子店舗販売及び
宅配事業・通信販売事業
- 設立／昭和60年12月
- 従業員数／200人
- 認定／2020年5月

<https://www.kinotoya.com/>



総務部長
本田 竜太さん

売上の一部を「さぼーとほっと基金」に還元 白石こころーどの清掃活動にも参加

身の丈にあった活動を長く続けることで
地域に愛され、必要とされるお店に

きのとやは地域に愛され、札幌市民に必要とされる企業をめざし、さまざまなまちづくり活動に取り組んでいます。そのひとつが「さぼーとほっと基金」*を通じて行っているまちづくり支援です。「札幌生まれの手づくりクッキー「南郷通り」の売上の一部を寄付し、創業の地に感謝を込めて南郷通周辺のまちづくり活動に役立てていただいています」(本田さん)。

2009年からスタートした支援は、白石サイクリングロードにあるトンネル内の壁画制作に使われるなど、町内会やボランティア団体、NPO法人などが取り組むまちづくり活動に活かされています。春と秋の年2回、同社のスタッフが白石こころーどの清掃活動にも継続して参加しています。

清掃については、市内4店舗でも実施。来店するお客様へのおもてなしとして、店舗周辺のゴミ拾いをお昼の時間帯に30分、スタッフの日課として毎日行っているそう。「当社のような洋菓子店は地元地域の皆さまに愛されなければ成り立ちません。どんな活動をするにしても、地域の方に愛されるお菓子をつくること、また行きたいと思っただけのお店であることが大前提です。そのうえで、きのとやとして身の丈にあった貢献を長く続けていきたいと考えています」



5月と10月の年2回、白石こころーどの清掃活動に参加



1時間の活動で集めた落ち葉は90ℓのゴミ袋20個分に

札幌にこだわり、おいしいお菓子をつくり続ける

未来を担う学生にエールを送る「きのとや奨学金」

「さぼーとほっと基金」の寄付に先駆けて、きのとやでは2005年から継続して北海道大学への教育研究支援も行っています。きっかけは北大OBである創業者の長沼昭夫会長。2004年の台風18号で被害を受けたポプラ並木の再生に役立てるために、『札幌農学校』の名前を冠したミルククッキーをつくり、売上の一部を寄付しています。

2005年の発売から続く支援は、2017年に累計額が1億円を超え、これを機に返済不要の「きのとや奨学金」が創設されました。経済的に困窮する北大生の支援につながっています。この『札幌農学校』は全道300カ所の土産物店で販売され、人気のお土産菓子として定着しています。

一方で、ケーキ類はつくりたてのおいしさを届けたいというこだわりから札幌市内9店舗に限定。「ケーキを目的に札幌に来ていただくと嬉しいです」。本田さんの言葉には、スイーツの街・札幌をけん引する同社の願いが込められていました。



売上の一部を寄付する「南郷通り」と「札幌農学校」

* さぼーとほっと基金

札幌市がさらに住みよいまちになることをめざし、市民や企業の皆様から募った寄付を財源に、町内会・ボランティア団体・NPO法人などが行うまちづくり活動に助成することで、札幌のまちづくり活動を支える制度。

【お問い合わせ】札幌市市民文化局市民自治推進室市民活動促進担当課(TEL:011-211-2964)

さぼーとほっと基金 検索

若い世代とつながることで、 業界全体のイメージアップを!



国土の隅々に張り巡らされ、人の移動や物資の流通を下支えする道路網。
秋津道路は重要なインフラである道路の舗装工事を専門に扱う企業です。
豊平区中の島に本社を置く同社は近隣地域と連携し、
道路の美化や町内会の行事などさまざまな活動に取り組んでいます。



秋津道路株式会社

秋津道路株式会社

〒062-0921
札幌市豊平区中の島1条2丁目2番4号
中の島クロスビル2階

- 業種 / 建設業
- 設立 / 昭和37年12月
- 従業員数 / 49人
- 認定 / 2020年8月

<http://www.akitsudoro.com/>



代表取締役 社長
渡辺 慶人さん

社員総出でアイスキャンドルづくり 地域の人から頼りにされる存在に

キャンドルの前で若い人が写真を撮る
その姿を見るだけで嬉しくなります

秋津道路が豊平区アダプト制度(アダプト・プログラム)^{*}に参加し、地域貢献への取組を本格化したのは2010年。道路の清掃や凍結路面への砂まきなど、近隣の環境美化や安全対策から始まった活動は、町内会のイベントへと広がります。「地域のために何かもってできないか、社員と話していたとき、中の島地区町内会連合会開催のアイスキャンドル大作戦のことを知って、ぜひ協力させてほしいとお願いしました」(渡辺社長)

町内会はもちろん大歓迎。最初は10個からスタートしたアイスキャンドル製作は、回を重ねるごとに参加者が増え、今では社員総出で100個以上製作。イベントの重要な戦力となっています。「冬場の作業は寒くてたいへんですが、点灯されて雪道に並ぶとキレイですし、若い人たちが写真を撮っているのを見ると嬉しくなります」

まちの人からは、「ありがとう」「秋津さん今年もつくるんでしょ」と声を掛けられるほか、補修工事などの相談が持ち込まれることも。「今後も地域の頼れる存在として、これまで以上に活動の場を広げていきたいですね」と、語ってくれました。



アイスキャンドル大作戦



町内会館の老朽化した駐車場を無償で補修

人々の暮らしを足元で支える道路舗装のスペシャリスト

高校生の職場体験を通じて、業界全体のイメージアップを

秋津道路は暮らしを守る生活道路から物流を支える高規格道路まで、舗装工事を中心に道内各地で数多くの公共事業に携わっています。「公共工事を担う立場から、地域貢献は当然の責務と考えています。工事中は通行の妨げや音の問題などで、不便をおかけすることになりますから。ただ、労働環境として、あまりよいイメージを持たれていないので、そこは変えていきたいと思っています」と渡辺社長。

地域の人々に、同社の仕事をより身近に感じてもらうため、近隣の高校から職業体験の受け入れも行っています。「舗装工事が果たす役割などを説明しながら、実際の現場を見てもらっています。自分の父親より上の世代の方が、汗水流して働いている姿を間近で見ると、やっぱり説得力があるんでしょうね。みんなカッコいいと言ってくれます」。未来を担う若い世代の人たち

とつながりを持つことで、業界全体のイメージアップをめざしています。

「舗装工事も冬場の除排雪も、誰かがしなければ交通がマヒし、暮らしに支障をきたします。そうしないための仕事があることを知ってもらいたいですし、多くの方々に興味を持ってもらえると嬉しいです」



若手やベテランの垣根なく、社内の雰囲気は和やか

^{*} アダプト・プログラム

道路清掃などの環境美化活動を希望する企業・団体と区役所が覚書を交わして、協働で地域のまちづくりに取り組む制度。札幌市では、中央・北・東・白石・豊平・清田・西区で実施。登録要件や手続き方法は区により異なるため各区のホームページを参照。
【お問い合わせ】アダプト・プログラムを実施している区の地域振興課まで。



自然を活かし、楽しむ 未来へ手渡す景観づくり

個人宅の作庭をはじめ、公園の設計・施工や維持管理、街路樹の剪定、都市空間の緑化など、造園事業を通して美しい風景を演出する四宮造園。

得意分野である自然を活かしたまちづくりで、学校や施設、地域のボランティアグループとも連携して多彩な取組を展開しています。



株式会社四宮造園

〒004-0022
札幌市厚別区厚別南3丁目2-25

- 業種 / 建設業
- 設立 / 昭和46年12月
- 従業員数 / 29人
- 認定 / 2020年4月

<https://www.shinomiya-zoen.co.jp/>



営業部設計積算部長
塚本 潤さん

工務部管理運営課長
杉村 雅人さん

花壇の手入れや公園内のイベントで 地域の人に自然と触れ合う場を提供

子どもたちの笑顔、参加者の喜びの声 嬉しい反応をいただくと励みになります

緑豊かないきいきとした地域づくりのために、公共空間の美観向上につながる緑地の手入れといったボランティア活動を行っています。「建設現場の近隣住民の方には、建設機械の音などでご迷惑をおかけしているの、周辺の道路清掃を行っていました。そのほか、私たちの得意分野で何か社会に貢献したいと考えていました」(塚本さん)。

なかでも精力的に取り組んでいるのが、学校や福祉施設内の除雪作業、樹木の剪定などです。

また、もみじ台緑地や屯田西公園では、指定管理業務の一環として、公園の利用促進を目的とした無料イベントの開催や、地域のボランティアグループと連携した花壇の花植え、剪定教室、野遊びといった多彩なボランティア活動を行っています。「学校内の緑地の樹木剪定や草刈りをすると、安全できれいになった緑地で子どもたちが笑顔で遊ぶ姿を見ることができて、とても嬉しい気持ちになります」(杉村さん)。

また、公園で開催するイベントでは、高齢者や体の不自由な方が車椅子のまま楽しめる花壇整備が好評です。「施設から屋外に赴き、土や植物に触れることでリフレッシュできたと喜んでいただいています。これからも、皆さんからの声を聞きながら、より充実した社会貢献を展開できるように考えていきたいです」(塚本さん)。



子どもたちと一緒に花壇の花植え



足腰に負担なく土に触れられる、高さのある花壇を活用

グローバルな視点で次世代に受け継ぐ新たな取組にチャレンジ

めざすのは持続可能な緑あふれる空間づくり

造園に携わる企業としての特性を活かし、自然な流れのなかで地域清掃や学校・施設でのボランティアなどに取り組んできた同社。今後も新たな活動を模索していきたいと塚本さん。

「多様な生物のためのビオトープを有する公園も管理していますが公園内にどんな生き物がいて、環境に対してどのような役割を果たしているのか、その社会的な意義など、私たちも勉強して情報を更新しながら、楽しいイベントを企画していきたいと考えています」(杉村さん)。

社会において重要な役割をもった植物を扱う造園業は、単なるものづくりではなく、良好な状態を活かし育むことも大切にする仕事です。安全とるおいのための街路樹、彩り豊かなおも

てなしを演出する花壇、美しく整えた公園をこれから先どのように楽しんで使ってもらうか、「長期的な視点をもった取組です。これからも社員一丸となって知恵を絞ってまいります」(塚本さん)。



周囲の環境に自然と馴染む社屋前で



継続こそ力なり あいさつ声かけ20年



「地球環境と建設の調和を願い」をキャッチフレーズに、創業以来58年間培ってきた技術と信頼で、顧客と地域と社会のニーズを満たす良きパートナーとして、数々の公共事業に携わってきました。東区東苗穂に本社ビルを構える同社は、あいさつ・声かけ運動やこども110番、消防団活動など、20年以上の長きにわたって、よりよいまちづくりに貢献しています。



安田興業株式会社

〒007-0803
札幌市東区東苗穂3条1丁目8-14
安田ビル

- 業種／建設業
- 設立／昭和38年4月
- 従業員数／25人
- 認定／2020年5月

<http://www.yasuda-kougyo.jp/>



代表取締役
安田 謙一さん

日々のあいさつ・声かけを通して
安全安心なまちづくりに貢献

こども110番や認知症見守り隊 地域ぐるみで助け合える仕組みも

安田興業は、東区が取り組む「あいさつ声かけ運動」のスタート当初から、社長自ら先頭に立ち、積極的に運動を推進しています。通勤や現場への行き帰りで、地域の方にあいさつをするのはもちろん、20年以上前から子どもや高齢者の見守り活動にも取り組んでいます。

とくに認知症については、全社員が正しい知識をもって対応できるよう、専門の講師を招いて『認知症サポーター養成講座』^{※1}を開き、言葉のかけ方や手助けの方法を実践的に学んでいます。また、本社ビルや現場事務所、工事車両に「こども110番」や「認知症見守り隊」のステッカーを貼り、緊急時の駆け込み寺としての役割も担っています。

東区に本社を置く企業のトップとして、安田社長は東区災害防止協会や札幌地区暴力追放センター協議会など、公的な組織で会長職を歴任。「地域ぐるみの活動は、個人と協会、そして区や警察などの公的機関と連携して取り組むことが大切です。習慣として長く続けることで、交通安全の啓発や犯罪の抑止、防災にもつながる。簡単そうにみえて実はとても奥が深い取組だと考えています」



月に1回、社員総出で行うパープルロードの清掃活動



あいさつ声かけ運動で地域の通勤や通学を見守る

道路を含む環境整備のプロとして、地域の安全安心を守る

「東区まち美化プログラム」^{※2}につながる清掃活動も2005年から継続

さまざまな地域貢献に取り組んできた安田興業。なかでも清掃活動については、2014年4月スタートの『東区まち美化プログラム』に参加し、伏古拓北通（パープルロード）の清掃から関連施設の破損調査に至るまでを担っています。

また2005年にポイ捨て条例が施行されたのに合わせて、クリーンパトロール隊を結成して、東区役所周辺とパープルロードの2カ所で活動を続けてきました。全社員で朝7時から約1時間、5月から11月まで月1回のペースで行っています。

お揃いのグリーンのベスト姿で行う清掃活動は地域でもお馴染み。散歩やランニングで通る人から、「い

つもごろうさま」と、声をかけられるそう。「継続こそ力。活動の輪がさらに大きく広がることを期待します」（安田社長）



社員の方々はみんな和気あいあいとした雰囲気

※1 認知症サポーター養成講座

認知症について正しく理解し、認知症の方やその家族を見守り、支援する応援者を養成する講座。認知症の基礎知識や認知症の人への接し方などを習得する内容で、10名以上の企業・団体には無料で講師を派遣（会場のみご用意ください）。【お問い合わせ】札幌市保健福祉局高齢保健福祉部介護保険課（TEL:011-211-2547）

※2 「東区まち美化プログラム」は6P「アダプト・プログラム」参照

地域の方々にとって 役立つ施設であるために

北海道最大の全天候型ドームとして国内外から多くの人を迎え、多彩なエンターテインメントを繰り広げてきた札幌ドーム。自然豊かなロケーションとドームならではのスケールを活かして、CSR活動においても札幌市民の広場として特別な感動体験を提供しています。



株式会社札幌ドーム

〒062-0045
札幌市豊平区羊ヶ丘1番地

- 業種／生活関連サービス業、娯楽業
- 設立／平成10年10月
- 従業員数／111人
- 認定／2020年1月

<https://www.sapporo-dome.co.jp/>



経営企画室 経営企画課
渡辺 智香子さん

人々に開かれた場所として
もっと身近に、親しみやすく

屋外テラスの夏まつりは盛り上がりました
これからも地域とのつながりを深めていきます

札幌ドームは「とよひらまちづくりパートナー」※の一員として、近隣町内会の清掃や花植え、お祭りや新年会のサポートなど、さまざまな活動に取り組んでいます。また、地域に開かれた施設として、広大な敷地を活かした自然観察会を実施。生態系の豊かさを身近に感じられると喜ばれています。

「専門家によるモニタリング調査で、鳥が36種類、チョウが35種類、トンボも30種類生息していることがわかっています」と渡辺さん。夏休みには子ども向けの昆虫採集、秋には一般向けの野鳥観察会を開催。札幌ドームそのものが生物多様性を考慮した設計になっていることを知ってもらえる機会にもなっています。

敷地内には散策路も整備され、市民の皆さまに喜んでもらえるよう樹木プレートが設置されており、散歩が楽しくなったという声も届いているそうです。

2019年には新たな取組として、屋外テラスを会場に、夏まつりを開催。屋台や緑日、各種アトラクション、コンサドーレのステージイベントなどで盛り上がりました。「豊平区を中心に周辺地域の方々との連携を深めることができました。今年は開業20周年なので今の状況に合わせて、新しいカタチで感謝を伝えたいと考えています」



小学生を対象に親子で参加できる「生き物探検隊」



屋外テラスで地域の方と盛り上がった2019年の夏まつり

喜んでもらうために今、何をすべきか、CSRの視点を忘れない

「みらいシート」や「絵画展」で子どもたちに夢と感動を

札幌ドームはプロスポーツやエンターテインメントを楽しむ非日常空間。同時に、地域に開かれた身近な場所として、「経営そのものがCSR活動であると考えています」と渡辺さん。地域の人にとって役立つ施設であるために何をすべきか、どうしたら喜んでもらえるか、全ての企画はそこからスタートしています。

例えば、「札幌ドームみらいシート」。これは、札幌市内の小学生を対象に、親子で北海道コンサドーレ札幌か北海道日本ハムファイターズの試合を観戦できるプログラム。参加した子どもたちはスタジアムの臨場感に大興奮。「本当に楽しかった」という感想が多く寄せられています。また、昨年10回目の開催となった「札幌ドームこども絵画展」では、イベントが軒並み中

止されるなか、担当した渡辺さん自ら町内会や児童会館に参加を依頼し、多くの作品を集めたそう。「今後も地域のかかわりを大切にしながら、ドームならではのスケール感を活かして、コロナ禍にあっても安心して楽しんでいただける方法を考えていきたいと思います」と語ってくれました。



広報課課長代理 藤田なおさんとの連携で、幅広い視点を持った業務を遂行（無料解放のメモリアル(展示)コーナーの前で)

※とよひらまちづくり
パートナー

地域のまちづくり活動への参加・協力の意欲を持った企業などに、「地域のためにできること」を登録してもらい、「地域のパートナー」として、町内会をはじめとする地域団体の皆さんと一しょにまちづくり活動に取り組んでもらうことを通じ、多様な担い手によるまちづくりを推進することをめざす取組。

とよひらまちづくりパートナー 検索

節目ごとに感謝を込めて あらゆるシーンで貢献を



市営地下鉄の自動出改札システムや鉄道信号保安装置など、地下鉄関連機器の保守メンテナンスを担う企業として1970年に設立された札幌日信電子。安全かつ正確性を維持し、札幌の交通インフラを支えるなかで、自然発生的に地域貢献への取組がスタートしました。



札幌日信電子株式会社

〒062-0054
札幌市豊平区月寒東4条8丁目6番5号

- 業種／製造業
- 設立／昭和45年10月
- 従業員数／110人
- 認定／2020年2月

<https://www.sapporo-nisshin.co.jp/>



総務企画課 係長
伊藤 雅人さん

さまざまな活動を通じて地域に広く貢献
近隣の清掃から子どものお仕事体験まで

実物の信号機を前にして目を輝かせる
子どもたちの姿を見るのは嬉しいですね

札幌日信電子が地域貢献活動として最初に取り組んだのは、社屋周辺の清掃活動でした。2006年に社内で事業改善案を募った際、社員の発案でスタートしたのが始まりです。「地域の発展に貢献するのは、我々のように札幌市の交通インフラを支える企業としては当然の務めです。CSR活動への取組が社会的に注目されはじめたこともあって、我々の意識も変わっていきました」（伊藤さん）。

清掃活動を皮切りに2010年の創立40周年には、豊平区アダプト制度^{※1}の覚書を交わし、活動の幅を広げています。「40周年記念事業として、清掃活動を拡大したのをはじめ、とよひらまちづくりパートナー^{※2}にも登録して、月寒東4条第一町内会のみなさんと一緒に花壇の花植えをお手伝いしたり、交通安全の啓蒙活動も行いました」。

加えて、子どもたちの職業体験を受け入れる「ミニさっぽろ」にも参加。交通信号機の配線修理や電球交換を体験できるイベントは、子どもたちにも大人気。「なかには博士のように詳しい子もいて、驚かされます。ミニさっぽろのイベントは3~4年生の児童が参加するのですが、楽しみにしている子どもも多くて、迎える側としても嬉しいですね」



お揃いのジャンパーを着て社屋前の歩道を清掃



子どもたちを迎えて行う交通信号機の修理体験

100年企業をめざして、「札幌の日常」を守り続ける

創立50周年を迎え、CSRの取組もより一層深まる

2020年、札幌日信電子は創立50周年を迎えました。「大きな節目なので記念に残るよう、豊平区のリンゴ並木に『きたろう』という新しい品種の木を植樹しました。また社屋前に置いてあるベンチを木製のものに替えました」（伊藤さん）。このベンチはバス停が同社前に移ったのを機に、バスを待つ人のために無償で提供したものです。「年配の方が休ませてとエントランスの階段に腰かけたり、夏の日差しを避けているのを見て置いたものです。考えてみるとこれがCSR活動の原点ですね」

コロナ禍により50周年記念行事が中止や延期を余儀なくされるなか、同社は「新型コロナウイルス札幌ささえあい基金」^{※3}に寄付しています。「社内で募金を集

めたところ、予想を上回る金額になりまして…」と伊藤さん。ほかにも、50周年記念の関連グッズを札幌市立大学の学生とコラボレーションして制作するなど、新しい社会貢献の在り方を模索。同社のまちづくり活動はさらに広がっています。



バスを待つ人を思いやる気持ちが伝わるベンチ

※3 新型コロナウイルス札幌ささえあい基金 新型コロナウイルス感染症の影響による、札幌市のさまざまな課題に対する取組を支援するために創設された基金。【お問い合わせ】札幌市市民文化局市民自治推進室市民活動促進担当課(TEL:011-211-2964)

※1「豊平区アダプト制度」は6P「アダプト・プログラム」参照 ※2「とよひらまちづくりパートナー」は12P参照

まちに暮らす人の立場で考え 安全・安心な毎日を守り続ける



1973年の創業以来、コンビニチェーン最大手として、商品やサービス、情報システムなどあらゆる面で、革新を続けるセブン-イレブン。ライフスタイルや価値観の多様化に伴って変化する人々のニーズに応え、安全・安心なまちづくりにおいても「近くて便利」なお店であり続けています。



株式会社セブン-イレブン・ ジャパン 北海道ゾーン 札幌地区事務所

〒060-0001
札幌市中央区北1条西1丁目6番
さっぽろ創世スクエア10階

- 業種 / 卸売業・小売業
- 設立 / 昭和48年11月
- 従業員数 / セブン-イレブン・ジャパン 156人
- 店舗数 / 343店 2021年2月時点
- 認定 / 2020年1月～

<https://www.sej.co.jp/>



オペレーション本部
北海道ゾーン・マネジャー
佐野間 真志さん

総務法務本部 総合渉外部
北海道ゾーン・マネジャー
松坂 隆広さん

緊急時の駆け込みや詐欺被害の防止など セーフティステーションとして、まちの安全に貢献

安心して暮らせるまちづくりのために
これから何ができるか考え続けます

日本フランチャイズチェーン協会の一員としてセーフティステーション活動に取り組むセブン-イレブンは、身の危険を感じた女性や子どもの駆け込み対応などを通じて、安心して暮らせるまちづくり活動を積極的に行っています。

コンビニを頼り女性や子どもが駆け込む件数は全国で年間3万件。その約半分を、セブン-イレブンが占めています。「数字は頭在化したものだけなので、実際にはもっと多くの方が駆け込んでいると考えられます。状況は様々ですから、店舗では慌てず落ち着いて対応できるよう、日頃の接客はもちろん防犯訓練や講習も繰り返し行っています」(松坂さん)。

また、「札幌市地域安全サポーターズ」*に登録し、高齢者の見守り保護活動を行うと同時に、北海道警察と連携し、巧妙化する特殊詐欺の被害防止にも取り組んでいます。「POSAカードを使った詐欺の場合、コンビニの店舗が被害を食い止める最後の砦です。安全にお買い物ができ、安心して暮らせる、よりよいまちづくりのために、できることはたくさんあると思っています。さまざまな社会課題に向き合い、セブン-イレブンだからこそ実現できる活動を、今後も時代の変化に合わせて模索していきます」



駆け込みや詐欺被害の対策についても学ぶ接客研修



笑顔で接する接客研修も、各店舗で繰り返し実施

変化するニーズに対応して、新しい価値や便利さを提供

時代の流れをいち早くキャッチして、宅配や社会課題にも取り組む

変わり続ける地域の環境や人々の暮らしに対応し、いち早く新しいサービスを提供し続けるセブン-イレブン。発想の根底にあるのは、「常にお客様の立場でものを見ること。本部と店舗が一丸となって現場の声に耳を傾け、本当に必要で便利なことは何かを考え続けること。それが全てです」そう話すのはゾーンマネジャーの佐野間さん。当初は難しいだろうと言われたATMの設置や電子マネーの導入も、実現してきました。コロナ禍で買い物に行けない人や巣ごもり層が増えるなか、ネット注文による周辺地域への宅配も、コンビニが果たすべき新しい役割としてスタートさせました。

ほかにも、食品ロス対策として消費期限が近い商品をシールで明示するエシカルプロジェクトや、配送シ

ステムを活用した防災対策、店舗移転時に発生する未使用商品の寄贈、人とAIをテーマにした小学生への教育支援等々。「社会全体を見て複合的に取り組むことで、安心して暮らせる、よりよいまちづくりにつながると信じています」



地域にとって、なくてはならない存在

* 札幌市地域安全サポーターズ

札幌市における、地域防犯・地域安全活動に参加する事業者の総称。札幌市地域安全サポーターズの活動を通じて、事業者と生活者のつながりを深め、事業者と生活者が「安全安心」で結ばれる優しいまちづくりをめざします。

本社1階ロビーを地域に広く開放 コンサートやアート作品発表の場に



十勝・池田町でのパルプ工場立ち上げに伴う機械据付けや原木加工に始まり、高層ビル建築や土木工事など多岐にわたる建設事業を通して100年の歴史を刻む丸彦渡辺建設。

『信頼を得ることは何にも勝る』という創業者の思いは脈々と受け継がれ、さまざまな社会貢献活動の場に息づいています。



丸彦渡辺建設株式会社

〒062-0906
札幌市豊平区豊平6条6丁目5番8号

- 業種／建設業
- 設立／昭和23年8月(創業大正7年)
- 従業員数／470人(札幌地区170人)
- 認定／2019年12月～

<http://www.maruhiko.co.jp/>



理事
事業本部札幌支店土木部長
齊藤 力さん

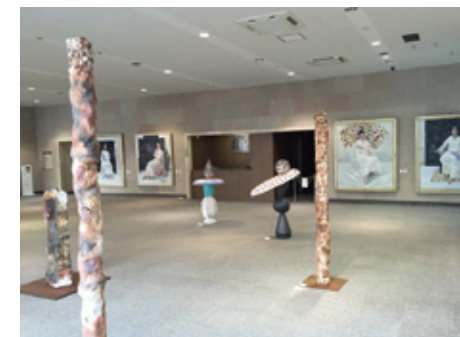
管理本部総務人事部
総務グループ課長
松原 治郎さん

アートや音楽と気軽に触れ合える まちと人の交流拠点をめざして

ミニコンサートで「ホッと心が癒された」
参加したみなさんの嬉しい声が励みに

丸彦渡辺建設は豊平区アダプト制度*に基づく清掃活動や環境美化活動などと並行して、積極的に取り組んでいるのが本社ビル1階ロビーをギャラリースペースとして無料開放する芸術文化への支援活動です。地下鉄東豊線学園前駅に隣接する本社ビル1階のエントランスロビーは、「まるひこアートスペース和(なごみ)」と命名され、絵画や彫刻などの作品展やミニコンサートなどを開催しています。

これまでに、絵画や立体造形の合同展をはじめ、写真展や人形展などを開催し、多くの来場を集めています。また2018年からは、農作業をしながらプロをめざす「半農半芸」の若手芸術家にギャラリーを無償提供し、石狩管内における農業の担い手確保にも貢献。「空間の広さを活かして、フルーツや音楽など、プロの演奏者によるミニコンサートも夏と冬に開催しています。昨年夏のコンサートでは、ソーシャルディスタンスを確保しながら、感染症対策を徹底して開催。演奏する方も聴く方も、久しぶりに生の音楽に触れ心が潤ったと喜んでいただきました。この場所でできることが、まだまだあると感じましたし、改めて美術や音楽に触れる場の必要性を痛感しました」と松原さんは語ってくれました。



2016年、創業100周年事業として開催した特別展



豊平区アダプト制度に基づく清掃・環境美化活動

部門横断の「地域貢献推進委員会」を設置し、活動を多角的に推進

総合建設業ならではの特性を活かした取組で、地域からも厚い信頼

丸彦渡辺建設では建設業としての特性を活かし、長年にわたり清掃や環境美化活動などに取り組んできました。2009年度には社内に「地域貢献推進委員会」を設置し、取組をさらに拡大。冬季の砂まきや、近隣小学校の環境整備活動など、さまざまな活動を行っています。「さっぽろふるさとの森づくり」にも参加し、手稲区山口緑地内の協定地に、アキグミやミズナラなど1800本の苗木を植樹。現在も継続して育樹を行っています。「誠実に愛情をかけて下草刈りなど手をかけてあげると、樹も成長してくれるのを実感します。素晴らしい森になることを期待しています」と齊藤さん。

長年続けている町内会の花植え行事では、活動終了後に町内会の人々を迎え、社屋の見学と防災講習

を実施。「防災グッズのほかに建築素材や寸法を体感できるパネルなども展示しているので、こういう場を活かして地域の人がもっと気軽に交流できる機会を増やしていきたいですね」



地域との交流で
社員のモチベーションアップに

*「豊平区アダプト制度」は6P「アダプト・プログラム」参照

よくある質問



どれくらい活動したら
認定される？

従業員数(パート・アルバイト含む)によって
認定となる基準が異なります。

従業員数	認定基準	必須条件
100人以上	年間 7 活動以上	区役所や町内会等の地域の団体と連携した活動については、寄付・協賛以外の活動に2つ以上ご参加ください。
100人未満	年間 5 活動以上	

※従業員数は、申込みいただいた単位(本社(支社)もしくは事業所)における札幌市内の人数が適用になります。
※認定の基準は上記のとおりですが、検討委員会にて活動内容を総合的に判断し、認定の可否を決定します。



認定を受ける
メリットは？

- 1 認定証・認定マークを付与します。(認定バッジもご購入いただけます)
- 2 札幌市ホームページ等により認定企業として活動実績を広報します。
- 3 まちづくり活動に特に積極的に取り組んでおり、その功績が顕著で他の模範と認められる企業には表彰を行います。表彰を受けた企業へは「ゴールド企業」「シルバー企業」として認定ランクを付与します。

がんばれば
表彰される？

札幌市のまちづくり活動に特に積極的に取り組んでおり、その功績が顕著で他の模範と認められる企業に対して表彰を行います(希望企業のみ)。表彰については、活動の内容や回数等を基に検討委員会により決定します。

表彰	認定ランク	1年間に実施する活動の目安		実施期間
		従業員数100人以上	従業員数100人未満	
市長表彰	ゴールド企業	年間60活動程度	年間40活動程度	3年以上継続
	シルバー企業	年間30活動程度	年間20活動程度	
局長表彰	—	年間15活動程度	年間10活動程度	

登録～認定・表彰までの流れ

認定は年度ごとに行います。翌年度も登録・認定・表彰を希望する場合は、更新手続きと実績報告が必要です。

1

登録申込

2年目以降は更新手続き

- 登録申込は活動を行う年度の3月末まで受付します。
- 登録いただいた企業名は札幌市ホームページへ掲載します。
- 活動予定項目等のご登録いただいた内容は札幌市役所・各区役所・まちづくりセンターへ共有させていただきます。

2

まちづくり活動へ参加・協力

各年度毎(4月～3月)

- 札幌市のまちづくり活動へ参加・協力ください。
- 登録いただいた内容に基づき、札幌市役所・各区役所・まちづくりセンターから参加・協力の依頼がある場合があります。

3

活動内容の報告

随時～翌年度4月末まで

- 活動報告書をご提出ください(別途活動状況がわかる書類を提出していただく場合もあります)。
- ご報告いただく活動は、当該年度のものであれば登録申込前の活動も対象となります。

4

認定

認定期間は翌年度3月末まで

- 活動報告書に基づき、検討委員会にて認定の可否を決定いたします。
- 各企業の活動状況は随時札幌市ホームページで紹介します。
- 「さっぽろまちづくりスマイル企業」としての基準を満たしたと検討委員会にて認められた場合は、随時認定いたします。
- 認定期間は活動を行った年度の翌年度3月末までです。
(例)2021年度に活動した場合、2022年度末(2023年3月末)まで認定します)

5

表彰及び認定ランクの付与

- 検討委員会にて表彰及び認定ランクの付与対象企業を決定します。
- 認定ランク(ゴールド企業またはシルバー企業)は付与した年度を含め3年度末までが有効期間です。
(例)2023年度に付与された場合、2025年度末(2026年3月末)まで有効
- 有効期間が経過した後においても活動状況に応じて再度認定ランクを付与します。

さっぽろまちづくりスマイル企業認定制度ホームページ

<https://www.city.sapporo.jp/shimin/support/csr/smile/> さっぽろスマイル企業

認定企業一覧

(2021年1月時点)



	企業名	主な活動実績
1	秋津道路株式会社	2019年に3代目社長が就任し、100年企業をめざす老舗です。豊平区中の島地区を中心に、地域のお祭りへの参加や清掃活動、消火栓除雪など様々なコミュニティ活動に、精力的に参加しています。
2	荒井建設株式会社札幌支店	豊平区内で、春と秋に旗の波運動、中学校周辺や豊平川高水敷の清掃活動、冬期間の地下鉄出入口周辺の砂まき散布実施。活動中、地域の方々に声をかけていただけるのがうれしく、励みになっています。
3	イオン北海道株式会社	ご当地WAONを通じた寄付や地域団体の活動を支援する黄色いレシートキャンペーンなど様々な取組を通じて「イオンのあるまちに住みたい」と言っていただけるお店づくりを推進しています。
4	勇建設株式会社	当社の創立記念日の清掃活動、種から花を育てるガーデンプロジェクトをはじめ、お祭りへの協賛や小学校のグラウンド整備など、これからも積極的な活動で地域のために貢献していきます。
5	伊藤組土建株式会社	本社周辺の清掃活動のほか、日本赤十字への寄付、「さっぽろオンライン夏まつり2020」の開催趣旨に賛同し協賛するなど、地域に密着した活動を行っています。
6	岩田地崎建設株式会社	当社は、環境美化や交通安全啓発などの活動をはじめ、コロナ禍における、医療従事者や外国人市民への支援など地域に根差した多様な社会貢献活動を実施しております。
7	株式会社大庭組	まちづくりとともに昨年創業70周年を迎えました。毎年、近くの小学校で入学式前の環境美化活動を実施。交通安全啓発や、高齢者世帯の除雪ボランティアにも参加し、地域に必要とされる企業をめざしています。
8	株式会社きのとや	白石区ふるさとまつりへお菓子を提供したり、子どもたちの店舗見学や学生のインターンシップの受け入れ、清掃活動など幅広く実施。地域のみなさんに愛されることを最高のよるごびとして取り組んでいます。
9	株式会社コクサク	札幌市の造園緑化土木事業を通じて、地域の方々の安全安心と、環境配慮につながる活動を行いたいと考え、地域の小学校・町内会に交通安全グッズや防災グッズを寄贈するなど、地域活動に参加しています。
10	さくら佐藤建設株式会社	白石区災害防止協力会の一員として防災訓練や月寒川清掃、地域の安全安心の確保や公園ボランティアなどを継続。町内会や地域の方々との交流の機会も増え、有意義な活動であることを実感しています。
11	株式会社札幌ドーム	夏休みに敷地内で野鳥や昆虫を探る「生き物探検隊」など、ふれあいの場を多数設けています。「札幌ドームにたくさんの鳥や虫がいることを知らなかった」など、驚きと感動の声をいただいています。
12	札幌日信電子株式会社	社会インフラを担う企業として、生活者である市民の方々のために、社屋周辺の清掃活動をはじめ、地域の防災・防犯活動、環境美化への取組、子育て支援、地域コミュニティへの貢献などを行っています。
13	株式会社札幌ロードメイク	夏期は公園ボランティアや交通安全啓発活動等を実施し、冬期は地域の高齢者住宅の除雪ボランティア活動等を行うなど、様々な活動を通して、安全安心なまちづくりに取り組んでいます。
14	三兼建設工業株式会社	東区での清掃活動や、あいさつ声かけをしながら、除雪、草刈りを行っています。また、街頭で暴力追放啓発活動を実施し関連グッズを配布。小学校で段ボールベッド製作など、防災訓練にも参加しました。
15	SANGO 株式会社三五工務店	地元を大切にしたいという想いから、麻生公園や会社周辺の環境美化への取組を行っています。社用車での防犯パトロールや、通学中の子どもたちの見守りを通して、地域の防犯活動を行っています。
16	株式会社四宮造園	学校や福祉施設内の除草作業、樹木の剪定、公園での利用促進イベントの開催に精力的に取り組むほか、アマチュア演奏家による音楽会の開催など、社員一丸となって活動しています。
17	新太平洋建設株式会社	札幌市の観光スポットであるテレビ塔周辺、創成川通りなどでゴミ拾い清掃、冬期の歩道への砂まきなどの活動のほか、小学校、中学校等へのボランティア活動にも積極的に取り組んでいます。
18	杉原建設株式会社	2017年度の創立65周年を記念して、東区内の公園に「ソーラー式電波時計」を寄贈して以来、毎年寄贈を継続。今までに計38個の時計を公園に設置しました。これからも様々な活動を実施していきます。
19	株式会社セイショウ	見守り活動を通じた、犯罪の起きにくい環境づくりをはじめ、近隣の清掃活動、消火栓やゴミステーションの除雪・清掃、高齢者宅の除雪ボランティアなど、地域の暮らしを支える活動に幅広く取り組んでいます。
20	株式会社セブン-イレブン・ジャパン 北海道ゾーン 札幌地区事務所	地域に寄りそう、なくてはならないお店をめざして、「女性・子供の駆け込み対応」「高齢者保護」そして「特殊詐欺被害の防止」に努めています。また、食品ロスの削減やプラスチックの削減などにも努めています。
21	SOMPOひまわり生命 保険株式会社 北海道統括部	無料のウォーキングアプリや血管年齢測定器などを活用して、地域の健康イベントに参加するなど、事業のノウハウを活かして市民の健康づくりから、地域の課題解決の支援など、様々な活動を行っています。

	企業名	主な活動実績
22	DAIGO 大同舗道株式会社	苗穂コミュニティガーデンの整備や、特別養護老人ホームに音楽療法士を招いての支援活動、インターンシップ受け入れなど、本社を置くJR苗穂駅で工事業所の周辺で地域貢献活動を行っています。
23	株式会社田中組	工事等で日頃ご迷惑をおかけしている作業所周辺にて、児童施設・教育施設のグラウンド整備や園庭整備のボランティア活動を継続して行うほか、地域と連携したまちづくりに貢献しています。
24	株式会社ツクイ	各事業所ごとの地域の介護予防センターに介護予防の運動や講話の提供をしています。また、町内会の新年会を毎年開催するほか、地域の小中学生とお年寄りがふれあう機会をつくっています。
25	道路工業株式会社	子どもたちの豊かな心の育成に貢献しようと、平成29年、創立70周年記念事業としてオリジナル絵本を制作し、札幌市内すべての児童会館とミニ児童会館へ寄贈。環境美化活動にも取り組んでいます。
26	株式会社日栄建設	地元の町内会と連携・協力して不法投棄監視活動や環境美化活動を実施。地域社会から愛される企業をめざして、地域のイベントへの協賛や、防犯パトロールなど、安全安心なまちづくりに貢献しています。
27	ニッコー保障株式会社	「プロフェッショナルが地域の笑顔を守る」を合言葉に、児童の見守り活動や防犯パトロール、ゴミ拾い等の環境美化を実施しています。さっぽろを元気にするまちづくり活動を継続していきます。
28	日本緑化工株式会社	地域に笑顔を増やしたいと考え、大通公園や近隣の公園での花壇の造成や、地域の小学生に花苗の植栽補助を行うなど、造園工事の技術やノウハウを生かしたまちづくり活動に積極的に取り組んでいます。
29	橋本電気工事株式会社	東区でまち美化プログラムや公園ボランティア活動を通じて、地域の皆さんとの交流を深めています。緊急時にAEDを提供できるよう社屋に設置するなど、地域のためにできることを続けています。
30	株式会社ふじ研究所	地域に根差して48年。町内会の盆踊り大会の運営に尽力するほか、美香保夏まつりにも協賛。札幌という街のすばらしさを伝えることで、地域の活性化につながればと思っています。
31	北盛電設株式会社	「地域社会の発展に貢献する」という基本理念に基づき、除雪ボランティアや交通安全運動、環境美化活動など様々なまちづくり活動に参加してきました。たくさんのスマイルで、まちをいっぱい。
32	北土建設株式会社	地域貢献活動の一環として環境美化活動や地域のお祭り・イベントの会場設営など幅広く取り組んでいます。地域住民の方々から「お疲れ様」「ありがとう」と声をかけていただき、社員の励みになっています。
33	北海道コカ・コーラ ボトリング株式会社	「北の大地とともに」をスローガンに、安全で住みよいまちづくりや自然環境保全など、地域の課題解決のお役にたてるよう取り組むとともに、どさんこ企業として、北海道の魅力を次世代へと伝えていきます。
34	HRS 株式会社 北海道ロードサービス	清田区にてボランティア活動を始めて10年。社員全員が自発的に活動に参加するようになりました。歩道清掃路線内で通学する子どもたちからお礼の言葉をいただく、社内の気運が高まっています。
35	株式会社 みらい・コンテック	全社員で環境保全などへの意識を高めるとともに、福祉除雪や交通安全街頭啓発への参加、中学生硬式野球チームグラウンドの除雪をはじめ、地域社会とのコミュニケーションを通して地域に貢献しています。
36	株式会社丸竹竹田組	2020年で創業100年。地域に感謝して、2017年から郷土史を後世に語り継ぐ札幌村郷土記念館の施設修繕を行っています。今後も地域の皆さんによるこんでいただける建設会社をめざしていきます。
37	丸彦渡辺建設株式会社	豊平区内で環境美化活動などに取り組んでいます。また、文化面でも地域に貢献したいという思いから、社屋1階ロビーを無料で一般開放し、美術作品展や写真展、ミニコンサートなどを開催しています。
38	マルミプラス株式会社	大通公園で市民の憩いの場として春から秋にかけ花壇を造っています。また消火栓や高齢者住宅の除雪ボランティア、防災訓練参加など、地域に根ざした活動を行っています。
39	ムトウ建設工業株式会社	白石区ふるさと会及び南郷13清掃隊の一員として、地下鉄南郷13丁目駅の付近や白石こころ一どの清掃活動を行っています。毎月の清掃活動で、地域の方々に声をかけていただき、励みになっています。
40	安田興業株式会社	東区での清掃活動や、あいさつ声かけをしながら、除雪、草刈りを行っています。また、街頭で暴力追放啓発活動を実施し関連グッズを配布。小学校で段ボールベッド製作など、防災訓練にも参加しました。
41	LIXIL 株式会社 LIXIL	大通公園や創成川公園の公共トイレの清掃で、地域社会に貢献。「衛生環境・水と環境・多様性等」についての出前授業も実施。会議室を地域の活動場所として貸出しています。(2020年度は感染症予防のため未実施)
42	LAWSON 株式会社ローソン	子どもたちの未来のための募金を推進し、学校緑化活動や「夢の教室」の開催を支援しています。セーフティステーション活動に積極的に参加し、青少年が育つ環境の健全化への取組などを推進しています。